

## 第22回「山形県家計消費動向調査」結果 (平成23年12月調査)

### 【調査の要旨】

- **消費指数**は、▲98.8となり9.4ポイントの改善となった。内訳としての景気判断指数が▲47.1(前期比5.4ポイント上昇)、暮らし向き判断指数が▲51.7(前期比4.0ポイント上昇)といずれも前期を上回っている。消費指数が2期連続で上昇しており、消費マインドは震災前(22年12月調査▲91.4)の水準に回復しつつある。
- **今後の見通し**として、消費指数が▲97.6(前期比1.2ポイント上昇)、内訳としての景気判断指数が▲44.7(前期比2.4ポイント上昇)、暮らし向き判断指数が▲52.9(前期比1.2ポイント下落)となり、ほぼ横ばいの見通し。
- **大きな買い物**への支出意向は、前年同期比で見ると、住宅(マンション、中古住宅含む)・土地が横ばいなのに対して、住宅リフォーム需要があがっている。
- **家計簿調査**は、収入面では可処分所得(収入の手取り額)が421千円と前年同期比で37千円減少となった。世帯収入合計は9千円ほど増加しているが、その他の収入で大きく減少している。一方、支出面では406千円と前年同期比で47千円減少となった。その結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は96.5%となり、前年同期(98.8%)を下回った。

平成24年1月

株式会社フィデア総合研究所

## 目次

I. 消費指数(総括) .....	2
II. 消費指数(内訳) .....	4
1. 景気判断.....	4
(1) 景気判断の概況.....	4
(2) 景気判断の推移.....	5
2. 暮らし向き判断 .....	6
(1) 暮らし向き判断の概況.....	6
(2) 暮らし向き判断の推移.....	7
III. 支出意向.....	8
(1) 支出意向の推移.....	8
(2) 支出意向(大きな買い物)の推移.....	9
IV. 家計簿調査.....	10
V. 調査の概要.....	12

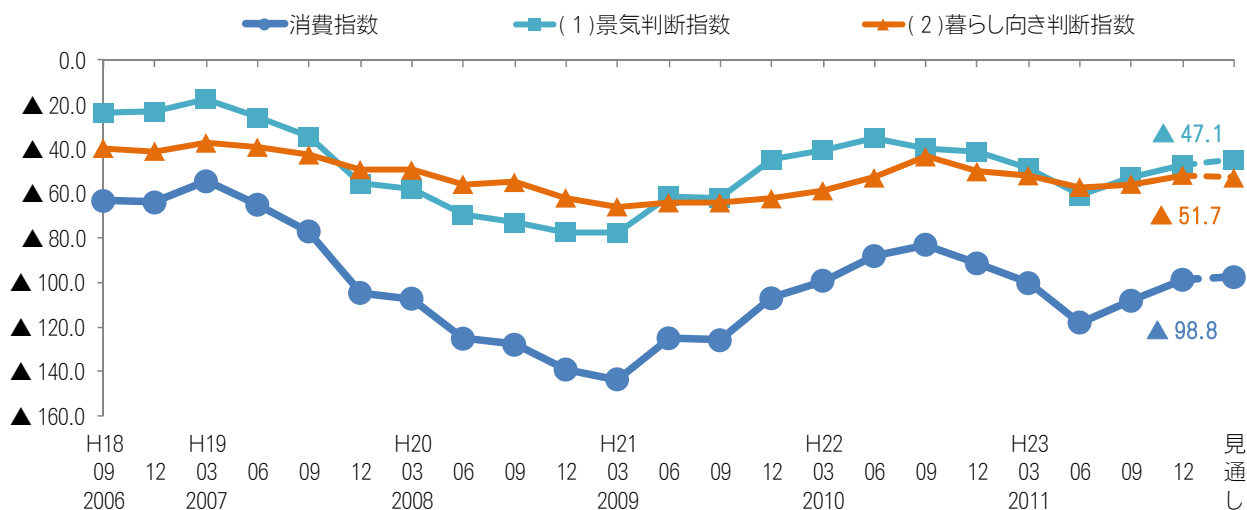
## 1. 消費指数(総括)

### ～2期連続の上昇が見られ、消費マインドは震災前の水準に回復しつつある～

消費指数は▲98.8となり9.4ポイントの改善となった。内訳としての景気判断指数が▲47.1(前期比5.4ポイント上昇)、暮らし向き判断指数が▲51.7(前期比4.0ポイント上昇)といずれも前期を上回っている。消費指数が2期連続で上昇しており、消費マインドは震災前(22年12月調査▲91.4)の水準に回復しつつある。

なお、今後の見通しについては、消費指数が▲97.6(前期比1.2ポイント上昇)、内訳としての景気判断指数が▲44.7(前期比2.4ポイント上昇)、暮らし向き判断指数が▲52.9(前期比1.2ポイント下落)となり、ほぼ横ばいの見通し。

図表1 消費指数の推移



#### 【指数の見方】

消費指数は(1)景気判断指数(景気・雇用環境・物価の3項目で構成)と(2)暮らし向き指数(世帯収入・保有資産・お金の使い方・暮らしのゆとりの4項目で構成)の合計からなり、値は200～▲200の範囲をとります。指数がプラスであれば家計の消費マインドは高揚していると判断します。一方、指数がマイナスであれば、消費マインドは低迷していると判断します。

※H23年3月調査は調査期間が震災の発生をはさんでいることから、震災後の回答のみを対象としています。

図表2 消費指数(内訳)の推移

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
18年	9月	▲63.3	▲23.7	▲6.1	▲3.6	▲14.0	▲39.6	▲8.0	▲9.7	▲8.6	▲13.3
	12月	▲64.0	▲23.1	▲7.6	▲5.0	▲10.5	▲40.9	▲8.0	▲10.1	▲9.4	▲13.4
19年	3月	▲54.5	▲17.3	▲4.7	▲4.0	▲8.6	▲37.2	▲6.8	▲9.0	▲8.5	▲12.9
	6月	▲65.0	▲25.9	▲5.6	▲3.9	▲16.4	▲39.1	▲6.8	▲9.9	▲9.6	▲12.8
	9月	▲77.0	▲34.5	▲8.8	▲9.1	▲16.6	▲42.5	▲8.7	▲9.3	▲10.6	▲13.9
	12月	▲104.7	▲55.5	▲15.2	▲12.1	▲28.2	▲49.2	▲10.3	▲11.4	▲11.7	▲15.8
20年	3月	▲107.3	▲57.9	▲16.2	▲13.3	▲28.4	▲49.4	▲9.9	▲11.3	▲12.3	▲15.9
	6月	▲125.3	▲69.5	▲20.8	▲16.7	▲32.0	▲55.8	▲10.6	▲13.3	▲13.7	▲18.2
	9月	▲128.0	▲73.1	▲22.1	▲19.4	▲31.6	▲54.9	▲10.1	▲13.2	▲14.1	▲17.5
	12月	▲139.2	▲77.3	▲26.0	▲27.1	▲24.2	▲61.9	▲11.9	▲15.4	▲15.9	▲18.7
21年	3月	▲143.6	▲77.7	▲28.4	▲30.9	▲18.4	▲65.9	▲14.4	▲16.3	▲16.1	▲19.1
	6月	▲125.1	▲61.0	▲24.1	▲27.8	▲9.1	▲64.1	▲14.2	▲16.5	▲15.0	▲18.4
	9月	▲126.0	▲61.9	▲23.4	▲26.9	▲11.6	▲64.1	▲14.0	▲15.6	▲15.6	▲18.9
	12月	▲107.1	▲44.8	▲21.7	▲25.6	2.5	▲62.3	▲13.5	▲15.7	▲14.4	▲18.7
22年	3月	▲99.2	▲40.5	▲16.7	▲21.7	▲2.1	▲58.7	▲12.4	▲14.6	▲14.4	▲17.3
	6月	▲88.1	▲35.2	▲13.2	▲18.5	▲3.5	▲52.9	▲12.8	▲14.4	▲10.4	▲15.3
	9月	▲83.0	▲39.6	▲15.0	▲19.5	▲5.1	▲43.4	▲6.3	▲11.9	▲10.0	▲15.2
	12月	▲91.4	▲41.3	▲14.9	▲20.0	▲6.4	▲50.1	▲12.3	▲12.8	▲9.8	▲15.2
23年	3月	▲100.3	▲48.4	▲15.6	▲17.8	▲15.0	▲51.9	▲12.0	▲14.2	▲10.7	▲15.0
	6月	▲118.0	▲60.9	▲19.6	▲22.9	▲18.4	▲57.1	▲14.1	▲15.0	▲11.6	▲16.4
	9月	▲108.2	▲52.5	▲18.0	▲20.7	▲13.8	▲55.7	▲13.4	▲15.0	▲11.3	▲16.0
	12月	▲98.8	▲47.1	▲17.0	▲19.5	▲10.6	▲51.7	▲12.5	▲14.4	▲9.9	▲14.9
見通し	▲97.6	▲44.7	▲15.0	▲17.8	▲11.9	▲52.9	▲12.9	▲13.6	▲11.9	▲14.5	

(前期差)

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
18年	12月	▲0.7	0.6	▲1.5	▲1.4	3.5	▲1.3	0.0	▲0.4	▲0.8	▲0.1
19年	3月	9.5	5.7	2.9	1.0	1.9	3.6	1.2	1.1	0.9	0.5
	6月	▲10.5	▲8.6	▲0.9	0.1	▲7.8	▲1.9	0.0	▲0.9	▲1.1	0.1
	9月	▲12.0	▲8.6	▲3.2	▲5.2	▲0.2	▲3.4	▲1.9	0.6	▲1.0	▲1.1
	12月	▲27.7	▲21.0	▲6.4	▲3.0	▲11.6	▲6.7	▲1.6	▲2.1	▲1.1	▲1.9
20年	3月	▲2.6	▲2.4	▲1.0	▲1.2	▲0.2	▲0.2	0.4	0.1	▲0.6	▲0.1
	6月	▲18.0	▲11.6	▲4.6	▲3.4	▲3.6	▲6.4	▲0.7	▲2.0	▲1.4	▲2.3
	9月	▲2.7	▲3.6	▲1.3	▲2.7	0.4	0.9	0.5	0.1	▲0.4	0.7
	12月	▲11.2	▲4.2	▲3.9	▲7.7	7.4	▲7.0	▲1.8	▲2.2	▲1.8	▲1.2
21年	3月	▲4.4	▲0.4	▲2.4	▲3.8	5.8	▲4.0	▲2.5	▲0.9	▲0.2	▲0.4
	6月	18.5	16.7	4.3	3.1	9.3	1.8	0.2	▲0.2	1.1	0.7
	9月	▲0.9	▲0.9	0.7	0.9	▲2.5	0.0	0.2	0.9	▲0.6	▲0.5
	12月	18.9	17.1	1.7	1.3	14.1	1.8	0.5	▲0.1	1.2	0.2
22年	3月	7.9	4.3	5.0	3.9	▲4.6	3.6	1.1	1.1	0.0	1.4
	6月	11.1	5.3	3.5	3.2	▲1.4	5.8	▲0.4	0.2	4.0	2.0
	9月	5.1	▲4.4	▲1.8	▲1.0	▲1.6	9.5	6.5	2.5	0.4	0.1
	12月	▲8.4	▲1.7	0.1	▲0.5	▲1.3	▲6.7	▲6.0	▲0.9	0.2	0.0
23年	3月	▲8.9	▲7.1	▲0.7	2.2	▲8.6	▲1.8	0.3	▲1.4	▲0.9	0.2
	6月	▲17.7	▲12.5	▲4.0	▲5.1	▲3.4	▲5.2	▲2.1	▲0.8	▲0.9	▲1.4
	9月	9.8	8.4	1.6	2.2	4.6	1.4	0.7	0.0	0.3	0.4
	12月	9.4	5.4	1.0	1.2	3.2	4.0	0.9	0.6	1.4	1.1
見通し	1.2	2.4	2.0	1.7	▲1.3	▲1.2	▲0.4	0.8	▲2.0	0.4	

(前年同期差)

消費指数		消費指数									
調査時期	消費指数	(1)景気判断指数					(2)暮らし向き判断指数				
		①景気	②雇用環境	③物価	④世帯収入	⑤保有資産	⑥お金の使い方	⑦暮らしのゆとり			
19年	9月	▲13.7	▲10.8	▲2.7	▲5.5	▲2.6	▲2.9	▲0.7	0.4	▲2.0	▲0.6
	12月	▲40.7	▲32.4	▲7.6	▲7.1	▲17.7	▲8.3	▲2.3	▲1.3	▲2.3	▲2.4
20年	3月	▲52.8	▲40.6	▲11.5	▲9.3	▲18.8	▲12.2	▲3.1	▲2.3	▲3.8	▲3.0
	6月	▲60.3	▲43.6	▲15.2	▲12.8	▲15.6	▲16.7	▲3.8	▲3.4	▲4.1	▲5.4
	9月	▲51.0	▲38.6	▲13.3	▲10.3	▲15.0	▲12.4	▲1.4	▲3.9	▲3.5	▲3.6
	12月	▲34.5	▲21.8	▲10.8	▲15.0	4.0	▲12.7	▲1.6	▲4.0	▲4.2	▲2.9
21年	3月	▲36.3	▲19.8	▲12.2	▲17.6	10.0	▲16.5	▲4.5	▲5.0	▲3.8	▲3.2
	6月	0.2	8.5	▲3.3	▲11.1	22.9	▲8.3	▲3.6	▲3.2	▲1.3	▲0.2
	9月	2.0	11.2	▲1.3	▲7.5	20.0	▲9.2	▲3.9	▲2.4	▲1.5	▲1.4
	12月	32.1	32.5	4.3	1.5	26.7	▲0.4	▲1.6	▲0.3	1.5	0.0
22年	3月	44.4	37.2	11.7	9.2	16.3	7.2	2.0	1.7	1.7	1.8
	6月	37.0	25.8	10.9	9.3	5.6	11.2	1.4	2.1	4.6	3.1
	9月	43.0	22.3	8.4	7.4	6.5	20.7	7.7	3.7	5.6	3.7
	12月	15.7	3.5	6.8	5.6	▲8.9	12.2	1.2	2.9	4.6	3.5
23年	3月	▲1.1	▲7.9	1.1	3.9	▲12.9	6.8	0.4	0.4	3.7	2.3
	6月	▲29.9	▲25.7	▲6.4	▲4.4	▲14.9	▲4.2	▲1.3	▲0.6	▲1.2	▲1.1
	9月	▲25.2	▲12.9	▲3.0	▲1.2	▲8.7	▲12.3	▲7.1	▲3.1	▲1.3	▲0.8
	12月	▲7.4	▲5.8	▲2.1	0.5	▲4.2	▲1.6	▲0.2	▲1.6	▲0.1	0.3
見通し	2.7	3.7	0.6	0.0	3.1	▲1.0	▲0.9	0.6	▲1.2	0.5	

## II. 消費指数(内訳)

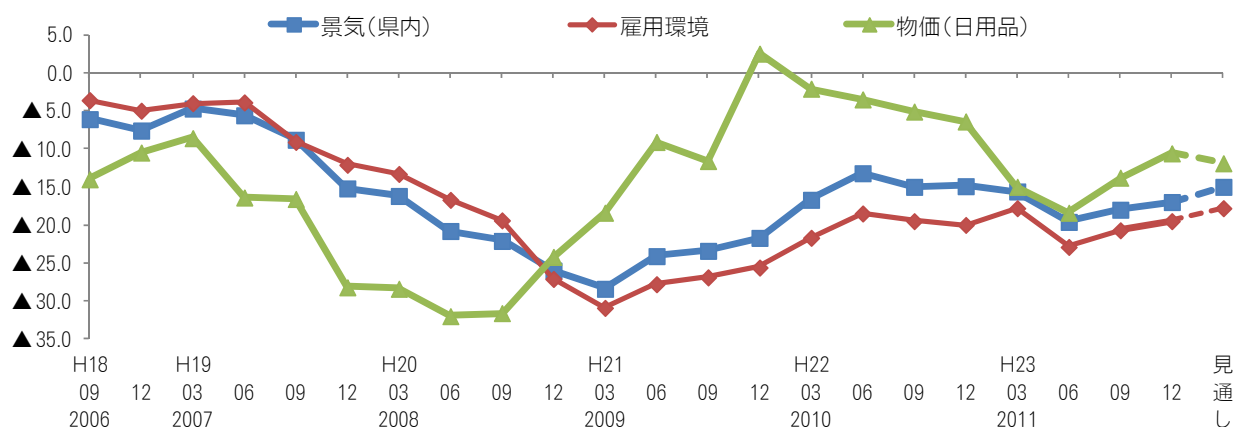
### 1. 景気判断

#### (1) 景気判断の概況

指数は▲47.1(前期比5.4ポイント上昇)となり、2期連続で回復が見られた。個別指数をみると景気が▲17.0(前期比1.0ポイント上昇)、雇用環境が▲19.5(前期比1.2ポイント上昇)、物価(日用品)が▲10.6(前期比3.2ポイント上昇)と全ての指数で前期を上回った。

なお、今後の見通しについては、▲44.7(前期比2.4ポイント上昇)と引き続き回復する見込み。

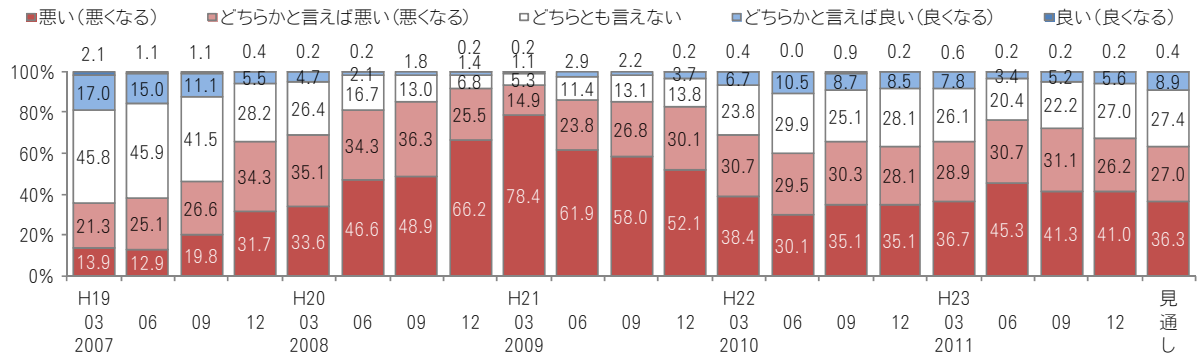
図表3 景気判断指数(内訳)の推移



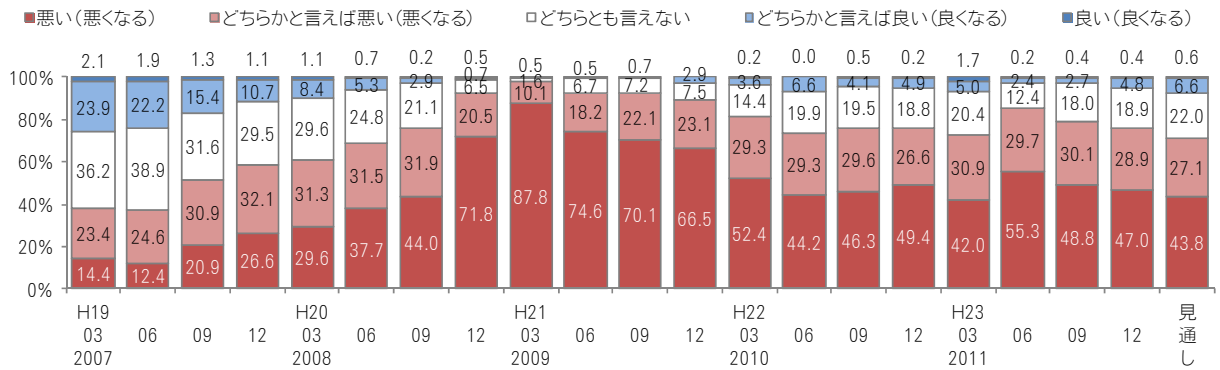
調査時期	景気判断指数			
		景気(県内)	雇用環境	物価(日用品)
22年	6月	▲ 35.2	▲ 13.2	▲ 18.5
	9月	▲ 39.6	▲ 15.0	▲ 19.5
	12月	▲ 41.3	▲ 14.9	▲ 20.0
23年	3月	▲ 48.4	▲ 15.6	▲ 17.8
	6月	▲ 60.9	▲ 19.6	▲ 22.9
	9月	▲ 52.5	▲ 18.0	▲ 20.7
	12月	▲ 47.1	▲ 17.0	▲ 19.5
	(前期比)	(5.4)	(1.0)	(1.2)
	(前年同期比)	(▲ 5.8)	(▲ 2.1)	(0.5)
24年	見通し	▲ 44.7	▲ 15.0	▲ 17.8
	(前期比)	(2.4)	(2.0)	(1.7)

(2) 景気判断の推移

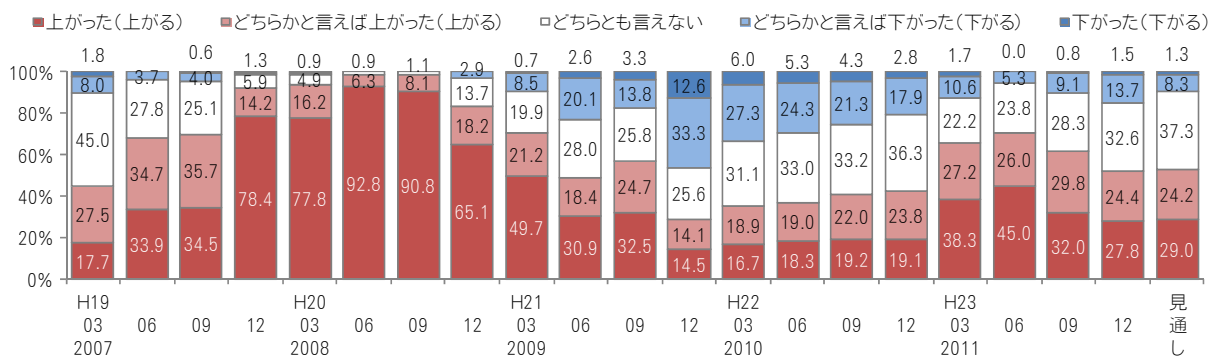
① 景気(県内)



② 雇用環境



③ 物価(日用品)

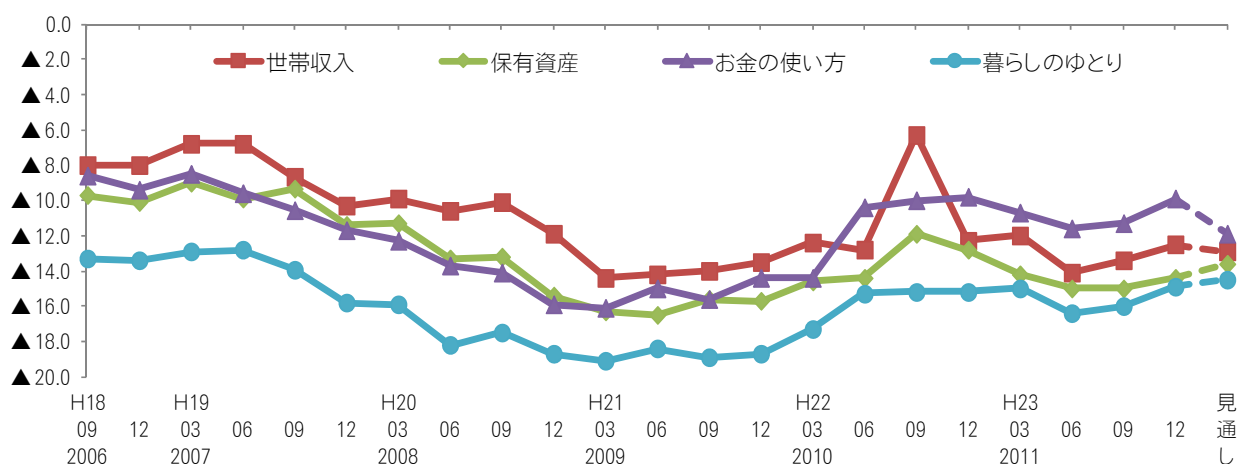


## 2. 暮らし向き判断

### (1) 暮らし向き判断の概況

指数は▲51.7(前期比 4.0 ポイント上昇)となり回復している。指数を形成する4つの指数とも2期連続で上昇しており、「保有資産」以外の指数で震災前(22年12月調査)の水準に回復している。なお、今後の見通しについては、▲52.9(前期比 1.2 ポイント下落)とほぼ横ばいの見込み。

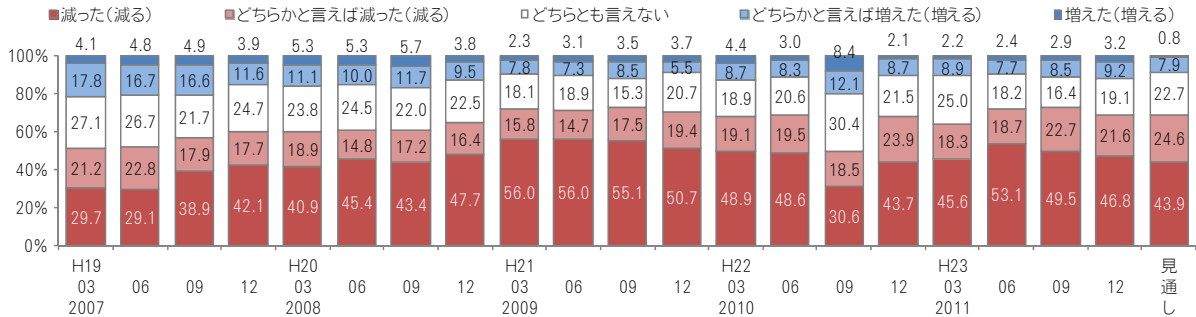
図表4 暮らし向き判断指数(内訳)の推移



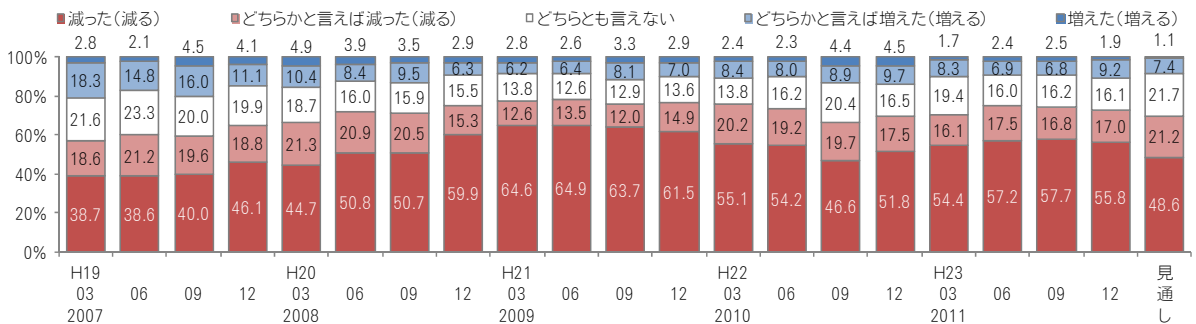
調査時期	暮らし向き判断指数					
	暮らし向き判断指数	世帯収入	保有資産	お金の使い方	暮らしのゆとり	
22年	6月	▲ 52.9	▲ 12.8	▲ 14.4	▲ 10.4	▲ 15.3
	9月	▲ 43.4	▲ 6.3	▲ 11.9	▲ 10.0	▲ 15.2
	12月	▲ 50.1	▲ 12.3	▲ 12.8	▲ 9.8	▲ 15.2
23年	3月	▲ 51.9	▲ 12.0	▲ 14.2	▲ 10.7	▲ 15.0
	6月	▲ 57.1	▲ 14.1	▲ 15.0	▲ 11.6	▲ 16.4
	9月	▲ 55.7	▲ 13.4	▲ 15.0	▲ 11.3	▲ 16.0
	12月	▲ 51.7	▲ 12.5	▲ 14.4	▲ 9.9	▲ 14.9
	(前期比)	(4.0)	(0.9)	(0.6)	(1.4)	(1.1)
	(前年同期比)	(▲ 1.6)	(▲ 0.2)	(▲ 1.6)	(▲ 0.1)	(0.3)
24年	見通し	▲ 52.9	▲ 12.9	▲ 13.6	▲ 11.9	▲ 14.5
	(前期比)	(▲ 1.2)	(▲ 0.4)	(0.8)	(▲ 2.0)	(0.4)

(2) 暮らし向き判断の推移

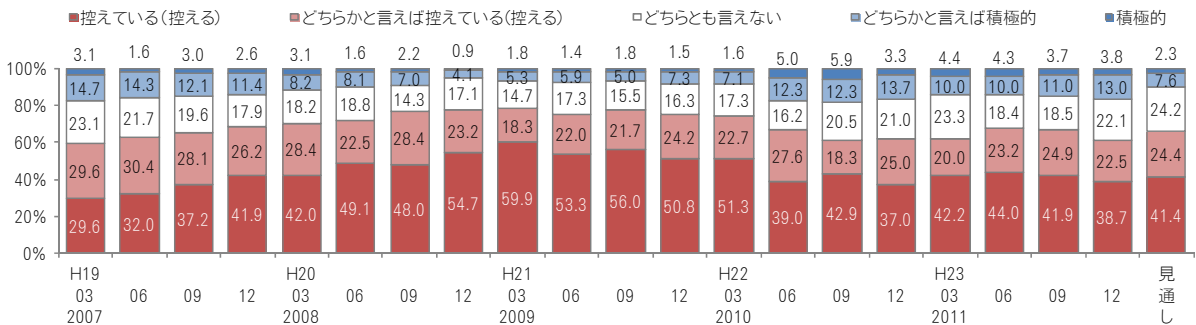
① 世帯(勤労)収入



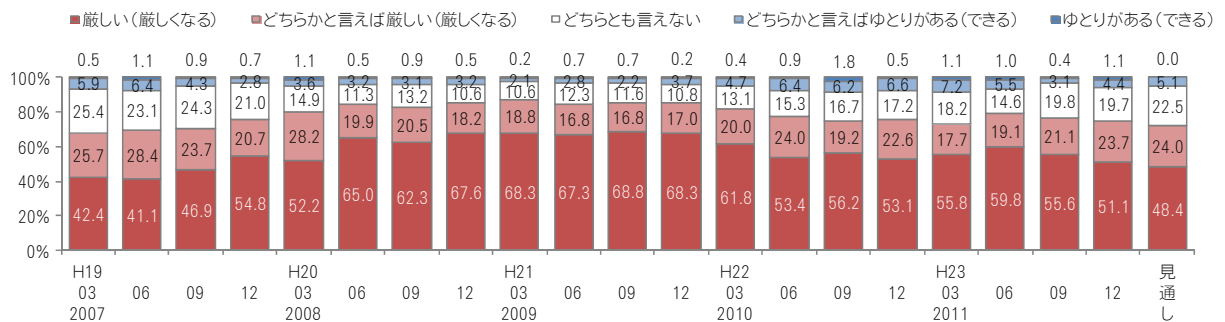
② 保有資産



③ お金の使い方



④ 暮らしのゆとり





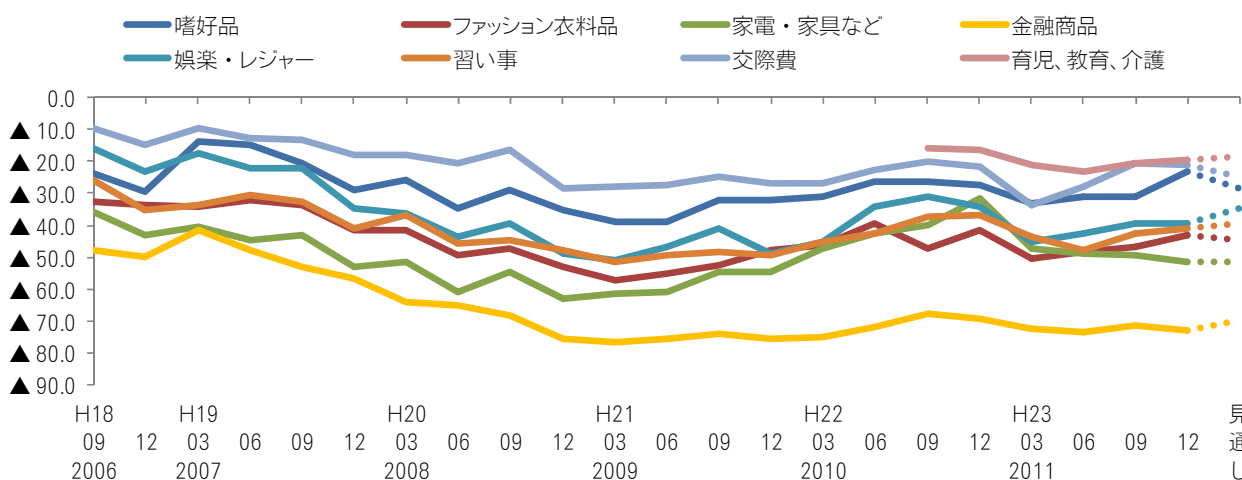
### III. 支出意向

#### (1) 支出意向の推移

支出意向D Iの平均値は、▲39.1(前期比 1.2 ポイント上昇)となり、ほぼ横ばいとなっている。個別に支出意向を見ると「嗜好品」が▲23.1(前期比 8.0 ポイント上昇)と高まっている。

なお、今後の見通しについては▲39.1で前期と変わらず横ばい。

図表5 支出意向D Iの推移



調査時期	支出意向D I									
		嗜好品	ファッション衣料品	家電・家具	金融商品	娯楽レジャー	習い事	交際費	育児・教育介護	
22年	9月	▲ 35.7	▲ 26.5	▲ 47.5	▲ 39.9	▲ 67.9	▲ 31.0	▲ 37.2	▲ 20.0	▲ 16.0
	12月	▲ 35.0	▲ 27.6	▲ 41.7	▲ 31.9	▲ 69.5	▲ 34.2	▲ 36.9	▲ 21.8	▲ 16.6
23年	3月	▲ 43.5	▲ 33.4	▲ 50.6	▲ 47.2	▲ 72.6	▲ 45.3	▲ 43.9	▲ 33.7	▲ 21.2
	6月	▲ 43.0	▲ 31.2	▲ 48.3	▲ 48.9	▲ 73.6	▲ 42.8	▲ 47.9	▲ 28.2	▲ 23.0
	9月	▲ 40.4	▲ 31.1	▲ 47.0	▲ 49.3	▲ 71.7	▲ 39.7	▲ 42.9	▲ 20.6	▲ 20.7
	12月	▲ 39.1	▲ 23.1	▲ 43.3	▲ 51.6	▲ 73.2	▲ 39.6	▲ 41.1	▲ 21.3	▲ 19.7
	(前期比)	(1.2)	(8.0)	(3.7)	(▲ 2.3)	(▲ 1.6)	(0.1)	(1.7)	(▲ 0.6)	(1.0)
	(前年同期比)	(▲ 3.4)	(4.5)	(▲ 1.6)	(▲ 19.8)	(▲ 3.7)	(▲ 5.4)	(▲ 4.3)	(0.6)	(▲ 3.1)
24年	見通し	▲ 39.1	▲ 28.5	▲ 44.5	▲ 51.7	▲ 69.7	▲ 35.0	▲ 39.7	▲ 25.0	▲ 18.8
	(前期比)	(0.0)	(▲ 5.4)	(▲ 1.2)	(▲ 0.0)	(3.5)	(4.6)	(1.4)	(▲ 3.7)	(0.9)

#### 【D I 値の見方】

各項目とも、現状判断についてそれぞれD I 値を算出する。D I 値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、算出方法は次の通り。

例)嗜好品D I 値

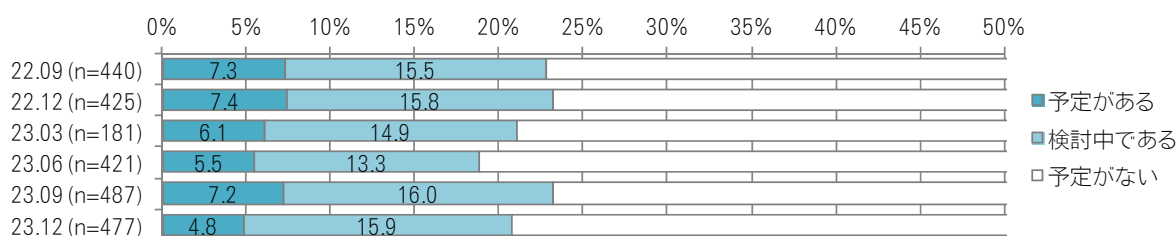
$$= (「1. 意欲的である」と回答した世帯の割合 \times 1.0 + 「2. どちらかと言えば意欲的である」と回答した世帯の割合 \times 0.5) - (「3. どちらかと言えば控える」と回答した世帯の割合 \times 0.5 + 「4. 控えている」と回答した世帯の割合 \times 1.0)$$

## (2) 支出意向(大きな買い物)の推移

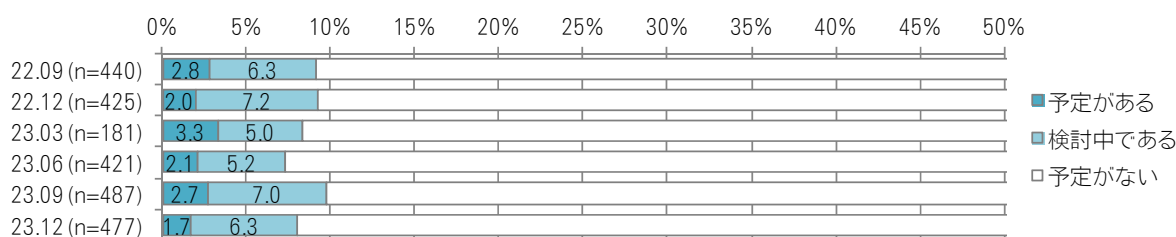
大きな買い物の支出意向をみると、自家用車(中古車含む)は4.8%の世帯で購入予定であり、前年同期比で2.6ポイント減少している。住宅(マンション、中古住宅含む)・土地は1.7%の世帯で購入予定であり、前年同期比で0.3ポイントとやや減少している。一方、住宅リフォームは4.0%の世帯で実施予定であり、前年同期比で1.8ポイント増加している。海外旅行は1.9%の世帯で予定しており、0.3ポイント減少した。

以上、大きな買い物の支出意向は前年同期比で見ると、住宅(マンション、中古住宅含む)・土地が横ばいなのに対して、住宅リフォーム需要が上がっている。

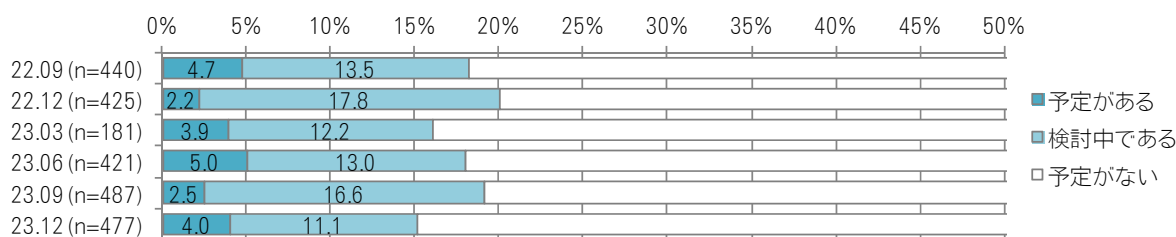
図表6 自家用車(中古車含む)



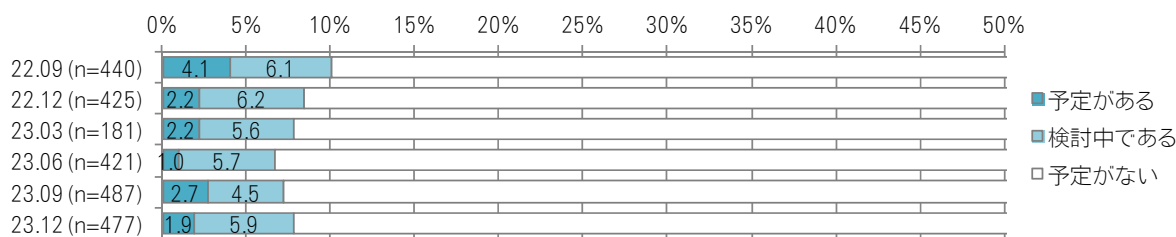
図表7 住宅(中古物件含む)・土地



図表8 住宅リフォーム



図表9 海外旅行



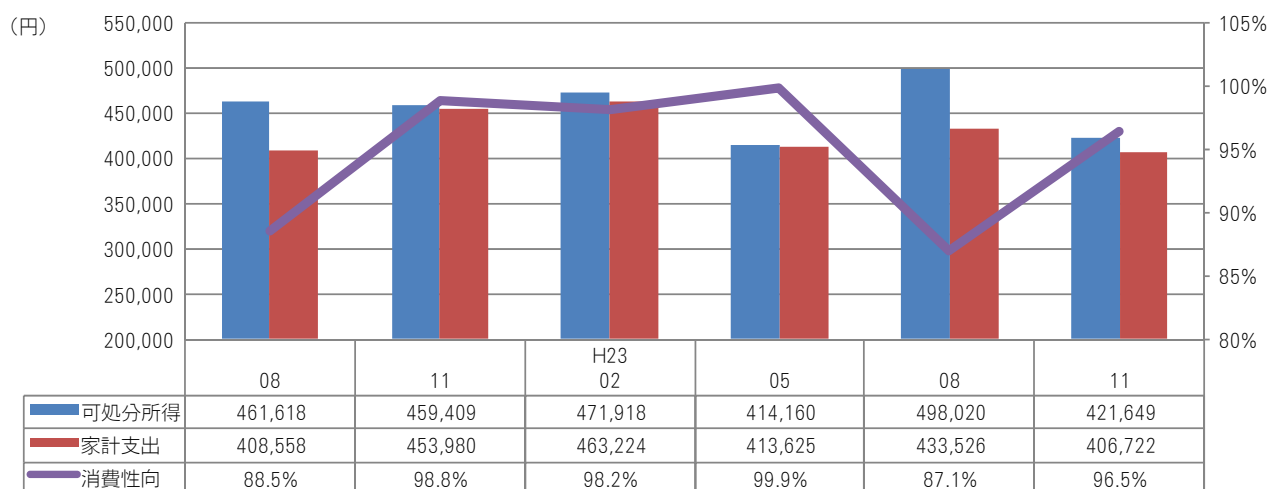
IV. 家計簿調査

図表 10 家計簿(474 世帯平均)

調査年月		22年 11月	23年 8月	23年 11月	(単位：円)	
					前期比	前年同期比
給 与	世帯主の定例給与《支給額》	298,275	324,801	<b>322,047</b>	▲ 2,754	23,772
	世帯主の臨時給与《支給額》	12,364	46,297	<b>9,396</b>	▲ 36,901	▲ 2,968
	A. 世帯主の給与《支給額》	310,639	371,097	<b>331,443</b>	▲ 39,654	20,804
	世帯員の定例給与《支給額》	125,523	134,529	<b>126,305</b>	▲ 8,224	782
	世帯員の臨時給与《支給額》	1,344	18,772	<b>4,892</b>	▲ 13,880	3,548
	B. 世帯員の給与《支給額》	126,867	153,301	<b>131,197</b>	▲ 22,104	4,330
世帯収入合計《支給額》(A+B)		437,506	524,398	<b>462,640</b>	▲ 61,758	25,134
収 入	世帯主の定例給与《手取り額》	237,914	254,415	<b>248,474</b>	▲ 5,941	10,560
	世帯主の臨時給与《手取り額》	10,646	36,919	<b>6,620</b>	▲ 30,299	▲ 4,026
	C. 世帯主の勤労収入合計《手取り額》	248,560	291,334	<b>255,094</b>	▲ 36,240	6,534
	世帯員の定例給与《手取り額》	105,581	113,699	<b>106,066</b>	▲ 7,633	485
	世帯員の臨時給与《手取り額》	1,136	14,482	<b>3,432</b>	▲ 11,050	2,296
D. 世帯員の勤労収入合計《手取り額》	106,717	128,180	<b>109,498</b>	▲ 18,682	2,781	
世帯収入合計《手取り額》(C+D)		355,277	419,514	<b>364,592</b>	▲ 54,922	9,315
(手 取 り 額)	1. 公的年金給付(老齢、障害、遺族年金)	26,033	33,184	<b>12,530</b>	▲ 20,654	▲ 13,503
	2. 保険給付金(医療、介護、失業保険)	2,017	1,780	<b>1,645</b>	▲ 135	▲ 372
	3. 各種手当(児童手当、こども手当)	6,159	3,887	<b>3,342</b>	▲ 545	▲ 2,817
	4. 利息、株式配当、投信配当金	2,406	2,679	<b>3,000</b>	322	595
	5. 事業収入(個人事業、農林水産業など)	3,635	4,334	<b>3,443</b>	▲ 890	▲ 191
	6. 不動産収入(駐車場、アパート家賃など)	3,847	3,929	<b>4,351</b>	423	504
	7. 有価証券売却・解約金(株、投資信託など)	9,118	1,212	<b>2,489</b>	1,278	▲ 6,629
	8. 不動産売却(土地、住宅、マンションなど)	0	0	<b>0</b>	0	0
	9. 中古品売却(リサイクルショップなど)	318	379	<b>530</b>	150	211
	10. 保険満期返戻金	26,944	6,895	<b>9,858</b>	2,963	▲ 17,086
	11. 保険一時金(生命保険、損害保険など)	5,262	6,590	<b>956</b>	▲ 5,634	▲ 4,306
	12. 相続、贈与、退職金	6,724	0	<b>169</b>	169	▲ 6,555
	13. 祝金、謝礼金、香典など	2,050	2,756	<b>5,662</b>	2,907	3,613
	14. 身内からの仕送り	1,477	6,495	<b>1,899</b>	▲ 4,597	422
	15. 借り入れ(カードローン、キャッシング)	4,755	3,444	<b>2,543</b>	▲ 901	▲ 2,212
	16. その他	3,389	943	<b>4,640</b>	3,697	1,251
E. その他収入(控除後)		104,132	78,506	<b>57,057</b>	▲ 21,449	▲ 47,075
I. 収入計(C+D+E)		459,409	498,020	<b>421,649</b>	▲ 76,370	▲ 37,760
支 出	1. 食費(飲食会費は含まない)	55,419	56,318	<b>54,271</b>	▲ 2,047	▲ 1,147
	2. 住居費(家賃、駐車場、修繕)	22,906	19,162	<b>30,313</b>	11,151	7,407
	3. 水道・光熱費(電気、ガス、上下水道、灯油など)	28,843	23,415	<b>27,567</b>	4,152	▲ 1,276
	4. 生活用品(生活雑貨、家事消耗品など)	10,919	11,722	<b>11,388</b>	▲ 334	470
	5. 被服・装飾費(衣服、アクセサリ等)	11,080	10,209	<b>11,319</b>	1,111	239
	6. 医療・介護・理美容(通院、医薬品など)	15,097	15,608	<b>15,005</b>	▲ 603	▲ 92
	7. 交通費1(バス、鉄道、飛行機、高速道路料金など)	2,912	5,159	<b>3,281</b>	▲ 1,878	369
	8. 交通費2(ガソリン代)	18,064	18,587	<b>17,360</b>	▲ 1,228	▲ 704
	9. 自動車関連費用(車検、メンテナンス、タイヤなど)	26,175	11,665	<b>18,087</b>	6,421	▲ 8,089
	10. 通信費(電話、新聞、受信料、プロバイダー料金など)	18,476	19,790	<b>19,114</b>	▲ 676	638
	11. 教育費(授業料、教材費、学習塾、部活費用など)	23,167	20,180	<b>19,682</b>	▲ 497	▲ 3,484
	12. 育児費(子ども用品、保育園、幼稚園など)	8,346	7,685	<b>8,133</b>	448	▲ 213
	13. 交際費(飲食会費、贈答品、冠婚葬祭費など)	15,935	17,271	<b>19,621</b>	2,350	3,686
	14. 娯楽、趣味(旅行、レジャー、映画鑑賞など)	10,443	18,066	<b>8,548</b>	▲ 9,518	▲ 1,895
	15. 習い事(英会話、料理教室、スポーツクラブなど)	2,966	2,412	<b>2,509</b>	97	▲ 457
	16. 高額商品(パソコン、家電、家具、インテリアなど)	40,958	13,116	<b>10,254</b>	▲ 2,862	▲ 30,705
	17. 金融商品1(株、国債、外貨、金など)	3,922	697	<b>3,107</b>	2,410	▲ 815
	18. 金融商品2(投資信託、変額・定額年金保険)	13,174	6,169	<b>1,589</b>	▲ 4,580	▲ 11,586
	19. 借入返済1(住宅ローン)	34,242	42,990	<b>33,275</b>	▲ 9,714	▲ 966
	20. 借入返済2(自動車、学資、カードローン)	13,682	15,013	<b>13,387</b>	▲ 1,627	▲ 295
	21. 税金、各種保険料支払い(給与天引き以外)	39,628	41,560	<b>37,882</b>	▲ 3,678	▲ 1,746
	22. 身内への仕送り(学生など)	7,780	10,831	<b>10,725</b>	▲ 106	2,945
	23. 小遣い、その他	29,846	45,901	<b>30,305</b>	▲ 15,596	459
II. 支出計		453,980	433,526	<b>406,722</b>	▲ 26,805	▲ 47,258
平均消費性向(支出計÷収入計×100)		98.8%	87.1%	<b>96.5%</b>	9.4%	▲ 2.4%
平均貯蓄性向(1-平均消費性向)		1.2%	12.9%	<b>3.5%</b>	▲ 9.4%	2.4%

※ 世帯収入《支給額》は400世帯平均。世帯収入・支出《手取り額》は474世帯平均。

図表 11 平均消費性向の推移



家計簿調査によれば、収入面では可処分所得(収入の手取り額)が421千円と前年同期比で37千円減少となった。世帯収入合計は9千円ほど増加しているが、その他の収入で大きく減少している。一方、支出面では406千円と前年同期比で47千円減少となった。その結果、平均消費性向(家計支出/可処分所得)は96.5%となり、前年同期(98.8%)を下回った。

## V. 調査の概要

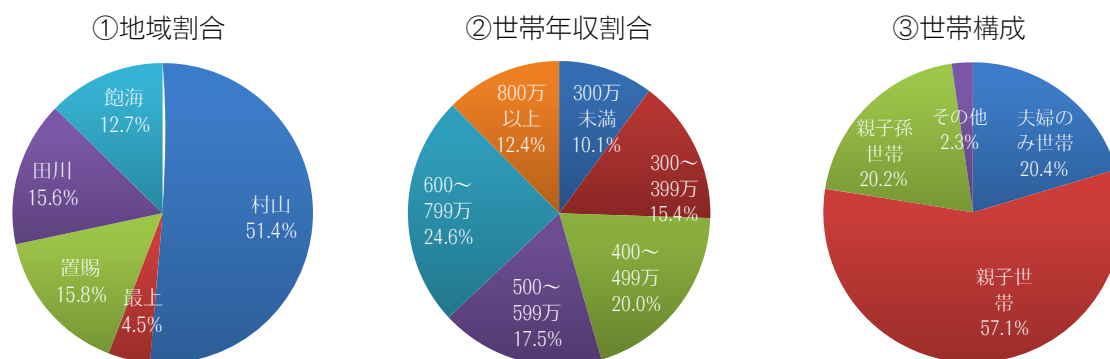
### 1. 調査の目的

山形県民の暮らし向きや今後の見通しについて時系列的に捉えるとともに、具体的な商品やサービスに対する支出動向を把握することにより、景気判断等の基礎資料を得ることを目的とする。

### 2. 調査の内容

- ◆ 郵送調査専属モニターを利用したアンケート調査
- ◆ モニター世帯数：507世帯 有効回答数：480 回答率：94.7%
- ◆ 22年3月調査は東日本大震災をはさんでいることから、震災発生後の回答のみを採用。

### 3. モニター属性



### 4. 調査の対象者

- ・山形県内に在住する勤労者(サラリーマン)世帯(世帯人数2人以上の世帯)

### 5. 調査期間

- ・平成23年12月1日～16日

#### <お問い合わせ先>

株式会社フィデア総合研究所  
 研究開発グループ 熊本 均 / 梅木 倫行  
 〒990-0043 山形県山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル8F  
 TEL: 023-626-9017 FAX: 023-626-9038  
 E-mail: kenkyuu@f-ric.co.jp URL: <http://www.f-ric.co.jp/>